キャラクター名: イトスギ

プレイヤー名:

種族	ライカンスロープ	種族特徴	暗視/獣人の力/獣化/弱点(銀+3)		
生まれ	軽戦士	性別	男性	年齢	17
冒険者Lv	7	経歴	罪を犯して追放された		
経験点	1510		友に止めを刺した		
			なるべく正体を隠している		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	10	器用度	7	5		22	3
		敏捷度	9	2		21 + 1	3
体	7	筋力	14	4		25 + 2	4
		生命力	10	2		19	3
心	5	知力	9			14	2
		精神力	10	1		16	2

技能	Lv.	技能	Lv.
フェンサー	7		
スカウト	4		
レンジャー	1		
エンハンサー	5		
アルケミスト	1		

戦闘特技			
必殺攻撃	IB38 p		p
武器習熟A/ソード	IB31 p		p
回避行動	IB29 p		p
武器習熟S/ソード	IB31 p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
汎用蛮族語	○	○
魔動機文明語	○	○
ライカンスロープ語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術	
ガゼルフット	
キャッツアイ	
ビートルスキン	
マッスルベアー	
ジャイアントアーム	
クリティカルレイ	

名誉アイテム	点数
スカーフ専用化	50
バックラー専用化	50
首きり刀専用化	50
アルケミーキット専用化	50
イグニスの魔符×2	20

名誉点 所持 20 /合計 240

技能

	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	7	10	10	11
シューター	0			

鎧と盾

		ランク	必要筋力	回避力	防護点
鎧	クロースアーマー		1		2
盾	バックラー		1	1	
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				2	
回避技能	フェンサー		合計値	13	2

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
首切り刀	1H	20		2d+ 11	9	14	30										
				2d+													
				2d+													

一般装備品	(消耗チェック)
バルバロス携帯品セット	○□□○□□
アルケミカード金Ax6	○□□○□□
魔晶石3点x6	○□□○□□
イグニスの魔符x2	○□□○□□
アウェイクポーションx2	○□□○□□
テインテッドポーションx2	○□□○□□

	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□

所持金 6129 G

預金・借金 G

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	22 m	66 m

回避	防護点
2d+ 13	2

HP
42

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 0/×	2d+ 7

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 10	2d+ 9

MP
18

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力

装備品	説明
頭	
耳	
顔	
首 スカーフ	
背中	
右手 疾風の指輪	
腰 アルケミーキット	
足	
その他 月光の指輪	破壊すると精神抵抗力+2

装備品	説明
左手 怪力の腕輪	

その他メモ

ウサギのライカンスロープ。元々は人族の街に住む普通の人間であったが、家業であった酪農、その中の屠殺業を手伝う内に“生き物の首を落とす”という行為に異常なほどの興奮を覚え始める。やがて、自分が手塩に掛けて育てた家畜ほど首を落とした時に感じる興奮も大きい、という事実に気付き、自分に親しい存在であればあるほど強い興奮を味わうことが出来るのではないかと考え始める。
自分と親しい存在の首を落としたいという衝動は日に日に強まり、初めは飼っていたペットから、街の人、親しかった友人たち、やがて実の生みの親までを手に掛ける。
衝動に突き動かされた計画性のない犯行は直ぐに発覚し、街の外へと永久に追放される。放浪の果てにライカンスロープの集落へとたどり着き、嘆願の末自らをライカンスロープの一員へと迎え入れて貰った。それは蛮族としての強靭な力を得る為ではなく、ただ単に、集落の一員としての他者との繋がりが欲しかっただけである。
他者との繋がりがあれば、やがては誰かと親しくなれるだろう。そうして親しくなった相手の首を落とせば、友人や実の親を手に掛けた時のような感動をもう一度味わえるに違いない。そう考えてのことだった。
ある日、集落の長によってとある蛮族討伐チームへの参加を勧められる。様々な種族が混ざりあったチームで戦うことは初めてだが、もしか

自動失敗チェック

□□□□⑤
□□□□⑩
□□□□⑮
□□□□⑳
□□□□㉕
□□□□㉚
□□□□㉟